

4) 行政部門担当者

農林水産部水産振興課	振興係長	川崎一男
	振興係	勝俣亜生
農林水産部漁政課	漁業調整係長	糸満盛健
	漁業調整係	新城博

5. 協力機関名

石垣市水産課

竹富町経済課

八重山漁業協同組合

6. 調査研究活動の目的及び方法

1) 目的

シャコガイ漁業の振興

2) 方法

①現状調査

現在の漁法、漁場、漁獲サイズ、漁家数、販路、加工等の状態について統計資料及び聞き取り調査を実施し、シャコガイ漁業の現状を明らかにする。

②標本船調査

シャコガイ漁業を営む漁業者に操業日誌の記入を依頼し、漁場、漁獲量、操業日数並びに他の漁業との兼業状況等を把握する。

③試験放流調査(栽培漁業導入の検討)

シャコガイ漁場への種苗の試験放流を行ない、放流効果及び漁場回復調査を実施し、栽培漁業導入の検討をする。

④検討会

研究、普及、行政及び漁業現場の各部門からシャコガイの資源、生態、漁法等に関する既往の知見を整理し、今後のシャコガイ漁業の振興を図る上での問題点と対応策について総合的に検討する。

7. 調査研究活動の結果

調査研究活動の期間は昭和58年度～59年度の2年間であり、昭和58年度は主に①現状調査と②標本船調査を行ない、現状の把握と問題点の抽出に努めた。調査結果は昭和58年度組織的調査研究活動推進事業調査報告書で報告し、本報告書にその一部を資料として添えた。今年度は③試験放流調査と④検討会の結果から今後のシャコガイ漁業の振興を図る上での問題点と対応策等についてを重点的に取り上げた。

調査研究活動にあたっては石垣市の漁業者の漁場の大半が竹富町に存在し、漁業協同組合も石垣市と竹富町で1組合という事情にあるので竹富町も調査研究活動域とした。調査研究活動域の地図は図1に示した。